



平成25年度 事業報告 自主「ネイチャーフォト教室」

沖縄美ら島財団の自主事業「ネイチャーフォト教室」を11月23日、県立名護青少年の家で開催しました。写真家の加藤文雄さんを講師に迎え、約20人の皆さんが名護岳のハイキングコースでの撮影会などを行い、自然の中での写真撮影のポイントを学びました。

加藤さんは、大阪府在住の海洋写真家で、世界中をフィールドにネイチャーフォト撮影で活躍しています。また、当財団が管理する海洋博公園のバンドウイルカ「フジ」の「人工尾びれプロジェクト」に参加していて、今回は同プロジェクトの10周年記念イベントで来沖。併せて当所での講義依頼も快諾していただき、本事業を開催することができました。



名護岳の自然を被写体にネイチャー写真を撮る参加者

この日は、受講者の皆さんに初心者の方が多いということもあり、初めに座学でカメラの構え方など写真撮影の基礎を重点的に、丁寧でわかりやすい講義が行われました。その後、昼食を全員で摂って交流を深め、おまじかめの撮影会へと移りました。

場所は名護岳の「沢コース」で、やんばるの豊かな自然の中をハイキングしながら、ネイチャーフォト撮影を行いました。受講者の皆さんは、アングルや光の取り入れ具合などを工夫し、さまざまなカットの撮影に挑戦。積極的に加藤さんに質問し、加藤さんも気さくにアドバイスを行うなど和やかな雰囲気、約1時間半かけてじっくりと自然観察しながら撮影を楽しんでいる様子でした。

この日は、受講者の皆さんに初心者の方が多いということもあり、初めに座学でカメラの構え方など写真撮影の基礎を重点的に、丁寧でわかりやすい講義が行われました。その後、昼食を全員で摂って交流を深め、おまじかめの撮影会へと移りました。

場所は名護岳の「沢コース」で、やんばるの豊かな自然の中をハイキングしながら、ネイチャーフォト撮影を行いました。受講者の皆さんは、アングルや光の取り入れ具合などを工夫し、さまざまなカットの撮影に挑戦。積極的に加藤さんに質問し、加藤さんも気さくにアドバイスを行うなど和やかな雰囲気、約1時間半かけてじっくりと自然観察しながら撮影を楽しんでいる様子でした。



タブレットを使用し写真の講評をする加藤氏

最後には写真の評価も行われ、加藤さんから丁寧なアドバイスがあり、受講者の皆さんは、よりネイチャーフォト撮影のおもしろさを実感することができた様子でした。

加藤さんは、「今回の名護岳は、ヒカゲヘゴとクワズイモのコラボレーションが印象的でした。季節によって、さまざまなラブリーでダイナミックな写真が撮れそうですね」とにっこり。受講者の志良堂君奈さん(名護市)は「写真は初心者で、いいものが撮れるかドキドキしていましたが、加藤先生に優しく教えていただいて、とても楽しい時間を過ごすことができました。名護の自然にじっくりと触れられたのもよかったです。今度は花がたくさん咲いていたり、生物たちももっと出てくるころにチャレンジしたいと思います」と笑顔で話してくれました。